

CHECKROID

導入事例 電子部品メーカーA社様

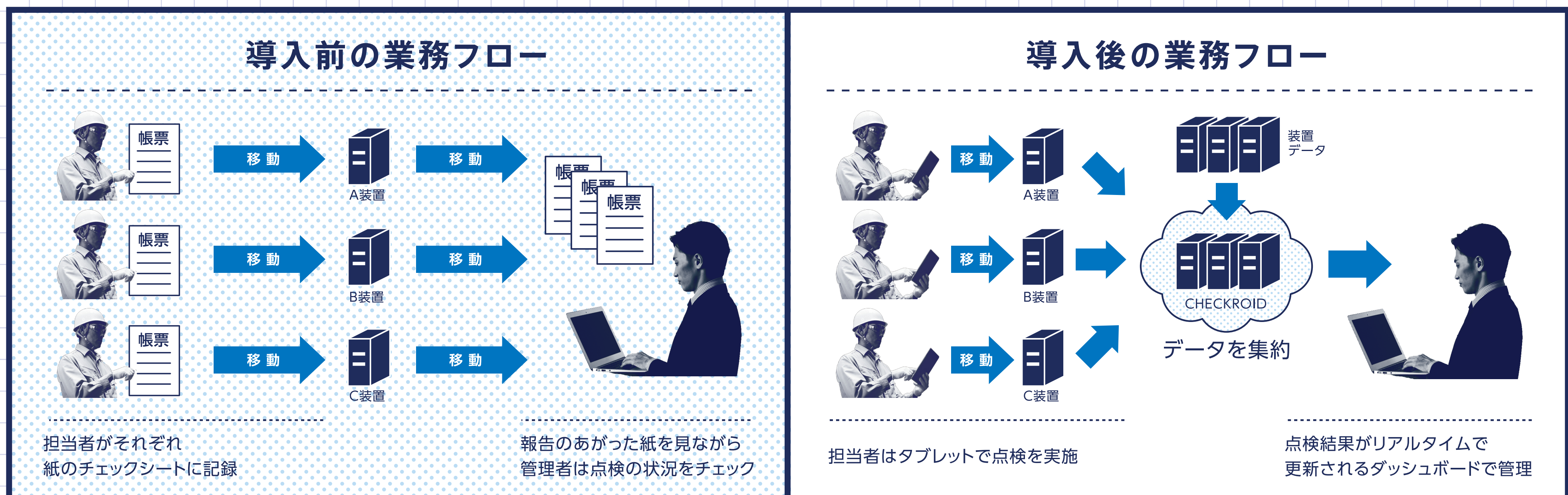
お客様の声

- 属人化していた点検作業が視覚的に把握することが可能となり品質管理の適正化および、生産性向上に繋がりました。

製造記録や装置稼働状況など、生産現場全体の「見える化」を推進するにあたって、これまでデータ化するのが難しかった「点検記録」の電子化を実現しました。

データ全体を集約し、BIツールと連携することで生産状況やフロアマップをボード上に表示し、視覚的に工場の稼働実績をチェックすることが可能となりました。

装置に対して適切な点検が実施されているかをダッシュボードでチェックしたり、作業者によって点検に時間を要していれば工程の見直しを図ったりするなど、品質と生産効率の向上に繋がりました。



導入概要

オンプレミス型(パッケージ販売)にて2014年4月導入
1工場あたり最大 300ライセンス
2016年4月現在、国内3工場、海外4工場稼働中

導入の決め手

1. 上下スクロールのみに特化したタブレット画面

CHECKROIDのタブレット画面はスマートフォンに不慣れな海外のオペレータ等でも使用可能な、上下のみにスクロールするシンプルな構成なので、ピンチイン、ピンチアウトなどタブレット特有の操作が不要な点を評価しました。

2. 正規化されたデータ構成

CHECKROIDでは正規化されたデータベースにデータを保持し、データは最小粒度の「検査の項目」レベルで保持しているため、統計分析等に活用するための条件が揃っていた点を評価しました。

3. QRコードによる的確な点検を実現

CHECKROIDのQRコード読取機能を活用すれば、オペレータの判断ミスなど、人的ミス防止、点検作業の効率化・品質の向上に繋がると考えました。特に、海外拠点では効果を発揮できるのではないかと評価しました。